

# 週刊

# 学びのコミュニティー

第4号

平成21年3月11日発行

地域社会人の  
みなさん！

共創型学習科目に参加しませんか…？

“共創科目”とは、社会人と学生が車座になり、共通のテーマや文献(名著)をもとにして、ざっくばらんに語り合いながら一緒に授業をつくっていきこうという科目のことです。平成20年度から始まったこの取り組みに、賛同して下さった地域社会人の方々が多数参加し、学生に、そして教員にも刺激を与えてくださいました。21年度は、さらに充実させて取り組んでいきたいと思っております。

また、21年度より、一部の教養科目でも社会

人を受け入れて、社会人の視点からコメントを頂く授業も開講されます。こちら単に授業を聴くだけでなく、学生-社会人-教員の三者が授業を作り上げていく形式で進めていきます。

開講科目は以下の通りです。社会人の定員が科目ごとに定められていますので、お早めにお申し込みください。何科目でもお申し込みは可能です。なお、定員オーバーの場合は、アンケート内容などを参照のうえ、決定させていただきますので、予めご了承ください。

NO	2009年度前期 科目名	担当講師 (所属)	社会人 定員	学生 定員	開講日・曜日・時間帯
1	心とからだの健康(教養科目)	佐野勝徳(総科) 長宗雅美(共通) 嵯峨山和美(共通)	5	150	4月13日 より全15回 月3・4限 10:25-11:55
2	名著講読:「パンセと教養」	大橋 眞(総科) 光永雅子(共通) 後藤寿夫(共通)	5	30	4月13日 より全15回 月3・4限 10:25-11:55
3	名著講読:「世界の見方～文学作品や科学随筆を読む」(共創型)	依岡隆児(総科)	5	14	4月13日 より全15回 月7・8限 14:35-16:05
4	宗教と人間(教養科目)	大橋 眞(総科) 石田三千雄(総科)	5	150	4月13日 より全15回 月9・10限 16:20-17:50
5	アクティブラーニングと科学(教養科目)	斉藤隆仁(総科)	5	50	4月14日 より全15回 火1・2限 8:40-10:10
6	名著講読:「生きがいを考える」(共創型)	大橋 眞(総科) 中恵真理子(共通) 後藤壽夫(共通)	5	12	4月14日より全15回 火5・6限 12:50-14:20
7	身近にある「ゆったりもの」—方言をつかまえよう—	岸江信介(総科)	10	70	4月14日より全15回 火9・10限 16:20-17:50
8	地域のボランティアリーダーたちと語ろう！(共創型)	廣渡修一(実践) 山本真由美(総科) 中恵真理子(共通) 田村貞夫(共通)	5	24	4月15日より全15回 水7・8限 14:35-16:05
9	日本語の音声	岸江信介(総科)	10	150	4月16日より全15回 木3・4限 10:25-11:55

## 説明会開催のお知らせ

前述の共創科目・教養科目に参加希望される社会人の方を対象とした説明会を開催いたします。この説明会は、円滑な授業実施のために、

- ★日時 3月17日(火曜日)
- ★時間 午後4時～6時
- ★場所 インテリジェンスラボ  
(大学開放実践センター3階)
- ★プログラム
  1. 取組について
  2. 参加経験者からの報告
  3. 質疑応答
  4. 分科会
  5. まとめ

授業に参加を希望される方にはなるべく参加して頂きたいと思っておりますが、受講の条件になるものではありませんのでご安心ください。

### 【お問い合わせ】

総合科学部 (3号館 3F)  
大橋 眞  
Tel 088 - 656 - 7261(直通)  
ohashii@ias.tokushima-u.ac.jp

全学共通教育センター  
GP 教員室 (3号館 3F)  
光永雅子  
Tel 088 - 656 - 7205

高等教育研究会 改め

リニューアル!!

## 学びのコミュニティーサロン

毎週火曜日、午後4時15分～1時間くらい、インテリジェンスラボにて行います。

学生、社会人、教員、どなたでも参加して頂けます。‘こんな話題で学生さんと話し合ってみたい!’ “このことについて社会人の方の意見を伺ってみたい!” …など、互いに話題を提供し合い、それぞれの《学び》を深めていきましょう。アイデアをどんどん出し合って、よりよい学びの場にしていきたくと思っています。堅苦しくない、三者が対等な立場で意見を言い合えるサロンを目指して、お茶でも飲みながら、いろいろなことを語り合ってみませんか? 第1回目として、上記の説明会を行い、以降毎週開催致します。



### ～編集後記～

“地域社会人”とはどんな人たちを指すのでしょうか。地域に住む<社会人=労働者>?それでは、仕事を引退した方や専業主婦は含まれないことになってしまいます。日本語以外の諸外国語では日本で一般に言うところの“社会人”という言葉は見当たりません。欧米では、「社会」と言うのがもともと人と人との繋がり、人々の集団と言う意味であることから、子どもや学生、そして高齢者、退職者も…他人と何らかの繋がりがある限り、社会に参加している人=社会人であると考えられます。ここでも、広く<地域社会を形成する人>という意味で使っています。敢えて条件を言うならば<地域を愛する人>。

子育てをしている今、人生の中で最も“地域の中で生きている”と感じ、“地域のために何かできないだろうか”という気持ちが湧いてきています。今暮らしているこの地域が元気になって欲しい。そして元気な地域の中で子どもたちを育てていきたい。そのために“地域社会人”のひとりとして学んでいきたいと思えます。(境)